

## 児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成31年3月11日

事業所名 学びの郷

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		広い活動スペースを確保している。	
	2	職員の配置数は適切である	○		手厚く職員を配置をしている。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		施設内はバリアフリーに配慮されている。	入口外に2段の階段があるので、出入りの安全を職員が見守っている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		生活スペースを確保し、毎日丁寧に清掃を行っている。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		ミーティングで全職員に情報を共有し、改善のための検討を行っている。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		評価表を配布してアンケート調査を実施している。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページ上で公開	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		必要に応じて専門家や他事業所へ相談を行っている。	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		研修を積極的に実施し、外部の研修会にも参加して職員の資質向上に努めている。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		アセスメントを適切に実施し、子どもと保護者、職員からの情報を詳しく分析した上でデイサービス計画を作成し	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		アセスメントツールを使用している。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		必要な項目を考慮したうえで支援計画を立案している。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		支援会議で支援計画の内容を職員と確認し、計画に沿った支援を	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		全職員が立案に参加している。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		職員のミーティングで案を出し合って検討し、新しい活動プログラムも	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		集団で活動する時間と個人活動の時間を含めて計画している。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	○		支援開始前に全員でミーティングを行い、活動や役割分担について確認している。	
	18	○		支援終了後にも話し合いを行い、気づいた点等を共有して翌日のミーティングに引き継いでいる。	
	19	○		業務日誌を活用して毎日記録をとっている。	
	20	○		支援計画に基づいて定期的にモニタリングを行っている。	
関係機関や保護者との連携	21	○		職員全体から子どもの状況をヒアリングし、ふさわしい職員が参画するようにしている。	
	22	○		関係機関のイベントに参加して情報を得ている。	
	23	○		現在該当する生徒はいないが、関係機関へ連絡できるような体制を整えている。	
	24	○		現在該当する生徒はいないが、利用開始時にかかりつけの医療機関を確認して連絡できるような体制を整えている。	
	25	○		相談支援事業所を通じて必要に応じて情報を共有している。	
	26	○		相談支援事業所を通じて必要に応じて情報を共有している。	
	27	○		各専門機関の実施する研修会に積極的に参加している。	
	28	○		児童館で活動する日を設けて交流している。	
	29	○		地域の実施するイベントに参加している。	
	30	○		モニタリングや面談を実施するとともに、送迎の際にも各職員が保護者と情報を交換し、全モニタリングの際に状況を話し合い、必要に応じて支援についての情報を提供している。	
	31	○		保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	
	32	○		運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	
	33	○		児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		随時相談を受け付けている。必要に応じて送迎時や電話、訪問で話し合いや相談を行っている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	今年度は保護者会等の交流の機会を開催していない。	保護者同士の連携を支援する方法を検討する。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		毎日のミーティングで全職員に情報を共有し、すみやかに対応を協議している。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		個別のお知らせを発行している。夏休み等の長期休暇前には活動予定表を作成している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		個人情報や肖像権に関して契約時に説明を行い、写真の公開について確認している。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		送迎時等に意思の疎通を図り、相談しやすい雰囲気づくりに努めている。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		地域住民を招待する行事は実施していないが、地域のイベントに参加する機会を作っている。	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		職員向けにマニュアルを策定している。保護者には利用開始時に説明を行っている。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		避難訓練を実施している。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		利用開始時と契約更新時に確認している。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		保護者からの情報をもとに連携して対応している。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハット情報を作成して事業所内で共有している。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		外部の研修会、職員研修で対応している。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している		○	現時点で身体拘束を必要とする生徒がいない。	必要に応じて協議し対応する。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。